

# 明るいシステム倶楽部 会報 12月号

(2023年)

## 関西から元気を発信

先月23日の阪神、オリックスのダブル優勝記念パレードは、関西が久しぶりに歓喜に包まれた瞬間でした。好天に恵まれ、神戸会場、大阪会場共に大いに盛り上がり、空前の見物客を迎えていました。こちらはテレビでの見物でしたが、両チームのファンは勿論、ファンならずとも、自然に喝采を送りたくなる雰囲気満ちたもので、周囲だけでなく自分までも気持ちが明るくなる経験はやはりいいものです。

更にサッカー界に目を向けますと、続く25日にはヴィッセル神戸が創設29年目にしてJ1初制覇というニュースも舞い込んでくるなど、関西も一段と元気づいていきますね。

## 海外の政情不安と国内の安定化

一方で、ここに来てニュース等で目を引くことは、イスラエルとハマスの紛争の激化であり、つい、ウクライナ問題が二次的な扱いになっているようにも感じられます。いずれにせよ、近年は専制主義国家が自由主義国家よりも台頭しつつある印象の今日、罪なき多くの市民達の生死等が関わっており、良識ある国々は根本的に解決できないまでも、事態を一旦収拾させるすべを早急に見出し、行動する必要があります。今回の短期戦闘休止も休戦や停戦に繋がる道筋が早く確立されることを、心ある人々は強く望んでいるように思います。

更には、こうした「世界の平和と安定」のためにも、日本は国内の政治不信や経済的課題等の事態収拾へ向けて少しでも改善し、より国際的な発信力を高めることが望まれます。

### < 12月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 12月号
- ② **第62回明るいセミナーちらし**
- ③ 年会費納入のお願い(該当者のみ)

< お知らせ > 年末年始休暇; 12/27(水) ~ 1/4(木)とします。

### < 12月の主な活動予定 >

12/2(土)	気楽な ZOOM サロン(36)	当倶楽部会員専用の交流の場です	20:00~21:30
<b>12/11(月)</b>	<b>第62回 明るいセミナー</b>	<b>大阪産業創造館 4階 イベントホール</b>	<b>14:00~16:30</b>
12/20(水)	役員会議(41)	今年度事業計画の具体化(社長会等)	13:30~14:40
12/20(水)	明るいシステム検討会議(24)	「明るいこと」の意味ほか	15:00~16:00

### AKS 市民大学 (ZOOM 形式)

12/13(水)	菊池教室(35)	「感性を育む和学講座、古事記」	20:00~21:30
12/23(土)	宮崎教室(39)	「あっ!と驚く問題解決法」	20:00~21:30
12/26(火)	柴原・松居教室(28)	「みんなで考える明るい職場」	20:00~21:30

明るいシステム倶楽部

ホームページ



## 「100活」で明るく、元気に生きるシニアの心得・その1

——「人生百年時代の歩き方」著者・五木寛之氏より——

明るいシステム倶楽部会員 黒田 能弘(くろだ・よしひろ)

前回ご案内しました通り、わたしが62歳より読書習慣としてきた中で、最も刺激を受け感化された書籍を紹介いたします。年齢による眼精疲労・かすみにもめげず目薬を差し、時にはワードに入力し、そのコピーを知り合いに配布したりもしてきました。

昨今、シニアの「年齢本」が人気とのこと。そこで、数字のついたこの本からスタートです。

◆**人生百年時代の歩き方**——はじめに、こうあります。誰もが百歳以上生きる可能性を持つ。この人類史上未曾有の事態に私たちはどう対処すればいいのでしょうか。困ったことに、音楽にせよ、文学にせよ、これまで人類が築き上げてきた文化遺産は、人間が百年以上も生きることを想定して作られていません。私はよく、人生を山登りになぞらえることがあります。50歳までの前半生が「登山」なら、その後の後半生はゆっくりと「下山」していく過程であると。

「下山」「下りる」というとマイナスのイメージでとらえられることが多いですが、それは間違いだと私は思います。なぜなら、下山して初めて山行が完結するのですから。登山を成長ととらえるなら、下山とは成熟なのです。そもそも、この世に無限の成長などありません。成長が止まったときから成熟が始まるのです。

◆**成長から成熟へ**——成熟の時期をどう豊かに生きるか、それが、私たちに問われていることではないでしょうか。百歳人生をどう生きるか。まったく予測はつかないのですが、未知の世界を切り拓いていくのだと考えて、楽しみながら後半生に入りたいものだと思いためて思うのです。

◆**人生を二回生きる**——私たちは、誰もが百歳以上生きるかもしれない時代を生きている。そうであるならば、人生を二回生きるイメージを大切に、それぞれ新しい生き方に切り替えてみてはどうだろうか。90歳になった「生き方の先輩」が、いま一番に伝えたいこと。とあります。

( 続 く )

話は変わりますが、先日はまた不思議な本『龍神のすごい浄化術』著者：ドラゴンマスターSHINGOさんを読む。暦のうえで開運日として「一粒万倍日イチリュウマンバイビ」—1カ月のうちに数回ある吉日とのこと。この日は、特に新しいことをはじめたり、大切な決断を下したりするのに適した日とある。私は、この本を読んですぐに動いた。

行き先は、京都市の貴船神社と下鴨神社。こういう所へ行くのは、一人が良い…。そして、昨日は以前に申し込んでいた「春日文化の杜—春日若宮おん祭—888年の物語—」と題する講座の参加証が届く。神社づいてこの頃です。

では、皆さま 良いお年を！

「100活」メッセンジャー 兼 NPO法人高齢者・障がい者後見人の会 代表

西国三十三所札所巡り旅 (16)

西国 第14番札所 (三井寺)

長等山 園城寺 (滋賀県大津市)

本尊：弥勒菩薩、如意輪観世音菩薩 (観音堂)

明るいシステム倶楽部会員：阿久根芳臣

行程：大阪市内から 65 km

(阪高、第二京阪、名神、国道 8 号、161 号、西大津バイパス皇子山ランプ～)

ここ三井寺は天台寺門宗 (総本山) である。正式な寺名「園城寺」よりも「三井寺」の通称の方が通りがいい。境内に湧き出る霊泉にちなんで「御井寺」と呼ばれたとも、寺号の由来は様々に伝わる。比叡山延暦寺との長い確執と紛争の歴史を持つ寺でもある。

西大津バイパスの皇子山ランプから琵琶湖側へ下り「皇子山運動公園」や「大津市歴史博物館」、「大津市役所」などの市街地の文教地区の整備された街を抜けて「琵琶湖第1疏水」の手前を右に山を上ることになる。精進料理「三井寺の長寿そば」なども頂ける、趣のあるお店もあり結構広い有料駐車場もあるので車で行っても安心だ。(駐車料 ¥500)

日本三名鐘のひとつ近江八景「三井の晩鐘」で知られる鐘つきは一人一回 ¥800 とややお高いが立派な鐘楼に囲われたこの大鐘は、ことに音色が優れており古来より「音の三井寺」と称され、その荘厳な響きは除夜の鐘で全国的に知られている。形の平等院、銘の神護寺とともに秀逸とされるのでご参拝の折には是非、挑戦していただきたいものだ。鐘といえば、寺門派と山門派の紛争を象徴する“弁慶の引き摺り鐘”も残されている。

ご本尊の「如意輪観音」は三十三年に1度しか開扉されない秘仏で、通常は拝することはかなわない。がしかし、今回の「令和のご即位」を記念して令和2年の春に特別に御開帳されている。(残念!!) 今後はこの様な情報にも耳を澄ませることも必要だと痛感した次第です。(情報は大事ですね) (詳しくはお寺のホームページでポチっと)

国宝 金堂



家康寄進の仁王門 (重文)



三井の晩鐘 (重要文化財)

